

第1回 1月11日(土) 西洋音楽のグローバル化と国際関係(総論)

曲:ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」より 幸田延/ヴァイオリンソナタ、宮城道雄/「春の海」ほか 演奏:印田千裕(ヴァイオリン)、岸美奈子(ピアノ)ほか

第2回 1月26日(日) 二人の戦没作曲家

> 曲: 紺野陽吉/弦楽三重奏曲、尾崎宗吉/小弦楽四重奏曲、ピアノのための4つの小品 (新発見、日本初演)、山田耕筰/ピアノ五重奏曲「婚姻の響」ほか 演奏: アートホール弦楽四重奏団 (印田千裕ほか)、渡辺泉 (ピアノ) 講師: 小宮多美江 (音楽史研究家)

第3回 2月15日(土) 島崎藤村と音楽

曲:シューベルト/ピアノ五重奏曲「鱒」、滝廉太郎/「憾(うらみ)」ほか 演奏:アートホール弦楽四重奏団 (印田千裕ほか)、岸美奈子(ピアノ)、齋藤麻里 (コントラバス) 講師:岩田ななつ (明治学院大学/日本近代文学)

第4回 3月1日(土) ユダヤ人・音楽・国際関係

曲:ファニー・メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲二短調

講師: 山本尚志 (国際政治史・音楽史)

第5回 3月15日(土) カザルスと 20 世紀の国際政治

曲: カザルス/未発表ピアノ曲(日本初演)、カザルス/サルダーナ、鳥の歌ヴィラ = ロボス/ブラジル風バッハ第1番、バッハ/アリア(G線上のアリア)ほか演奏: 東京藝術大学を中心とするチェロ八重奏、安田正昭(ピアノ)講師: 細田晴子(日本大学/国際関係史・スペイン現代史)

*アンカー(第1回~第5回) 半澤朝彦(明治学院大学国際学部准教授)

主催:明治学院大学 共催:戸塚区民文化センターさくらプラザ 後援:戸塚区役所



音で聴く歴史と国際関係 =戦争と平和=

新設のホールで生演奏に触れ、音楽についての理解も深めながら、戦争と平和の歴史を考えるユニークな講座です。 戦没作曲家の貴重な作品、歴史的に貴重で芸術的にも価値の高い名曲を、東京藝術大学や海外で学び第一線で活躍する演奏家の熱演で毎回じっくりお聴きいただきます。 気鋭の研究者の詳しい講義付きで、国連やホワイトハウスで「鳥の歌」を演奏した平和の使徒、カザルスの未発表作品など、日本初演も。

*アンカー(全5回):半澤朝彦(明治学院大学准教授)

1 □ 西洋音楽のグローバル化と国際関係(総論)

2014年1月11日(土)

西洋近代の「合理主義」を体現する一方、グローバルな文化の交わり(アラブ・アジア・アフリカ・アメリカの影響)から生まれた「西洋音楽」とは何か。帝国主義、列強対立の中でどうグローバル化したのか、戦争と平和の問題とどうかかわるのか。最新のグローバル化論を踏まえ、全5回の総合的な枠組みを示す。

- 曲 ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」より 幸田延/ヴァイオリンソナタ、三善晃/ヴァイオリン・ソナタより 宮城道雄/春の海、メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲二短調より ほか
- 演奏 印田千裕(ヴァイオリン)、岸美奈子(ピアノ)ほか

第2 □ 二人の戦没作曲家

2014年1月26日(日)

「戦没画家」の存在は知られているが、若く才能ある作曲家も戦争の犠牲となった。長年この問題を追いNHK特番の製作にも加わった小宮氏ほかを講師に、昨年「明治学院コンサートシリーズ第44回」で日本初演された紺野陽吉、傑作の誉れ高い尾崎宗吉の「小弦楽四重奏曲」ほかを取り上げる。

曲 紺野陽吉/弦楽三重奏曲 尾崎宗吉/小弦楽四重奏曲、ピアノのための4つの小品(新発見日本初演) 山田耕筰/ピアノ五重奏曲「婚姻の響」 ほか

演奏 アートホール弦楽四重奏団(印田千裕ほか)、渡辺泉(ピアノ)

講師 小宮多美江(音楽史研究家)

第3回 島崎藤村と音楽

2014年2月15日(土)

明治学院卒業生の島崎藤村(1872-1943)は、東京音楽学校(現在の東京藝術大学)専科でヴァイオリンなどを学んだ。藤村の文学は、西洋音楽を強く意識する形で展開したという。そこには、西洋文化への愛憎、日露戦争から太平洋戦争への国際政治の悲劇的展開という、近代日本の矛盾が隠れている。

- 曲 シューベルト/ピアノ五重奏曲「鱒」、ドビュッシー/「子供の領分」より 滝廉太郎/「憾(うらみ)」 ほか
- 演奏 アートホール弦楽四重奏団(印田千裕ほか) 岸美奈子(ピアノ)、齋藤麻理(コントラバス)
- 講師 岩田ななつ(明治学院大学/日本近代文学)

第4回 ユダヤ人・音楽・国際関係

2014年3月1日(土)

音楽のグローバル化の中で、ユダヤ人が果たした役割は大きい。作曲家フェリックス・メンデルスゾーンやマーラー、演奏家や音楽産業関係者の多くがユダヤ人。目を世界に向けての第4回は、ホロコーストやアラブ・イスラエル紛争にも触れるほか、女性作曲家の嚆矢、フェリックスの姉ファニーの作品も取り上げる。

- 曲 ファニー・メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲ニ短調 ブロッホ/「祈り」、コルンゴルド/ピアノソナタ第一番より マーラー/ピアノ四重奏曲、ショパン/夜想曲第二番 ほか
- 演奏 印田千裕(ヴァイオリン)、柘植藍子(ヴィオラ) 半澤朝彦(チェロ)、渡辺泉(ピアノ)
- 講 師 山本尚志(国際政治史・音楽史) 既刊『日本を愛したユダヤ人音楽家、レオ・シロタ』毎日新聞社刊、ほか

第5回 カザルスと20世紀の国際政治

2014年3月15日(土)

国連やホワイトハウスで「鳥の歌」を演奏した、スペイン・カタロニア出身で20世紀最高の音楽家とされるチェリスト・指揮者・作曲家のカザルスは、その一世紀近い生涯が、対ファシズム戦争、冷戦など20世紀の国際政治と不可分である。圧巻のチェロ八重奏を、第一線で活躍する気鋭の奏者が演奏。

- 曲 カザルス/未発表ピアノ曲(日本初演) カザルス/サルダーナ、鳥の歌 ヴィラ = ロボス/ブラジル風バッハ第1番 バッハ/アリア(G線上のアリア) ほか
- 演奏 東京藝術大学を中心とするチェロ八重奏、安田正昭(ピアノ)
- 講師 細田晴子(日本大学/国際関係史・スペイン現代史) 最新刊『カザルスと国際政治』(吉田書店刊 2013)

岸美奈子(ピアニスト:東京藝術大学卒)、渡辺泉(ピアニスト:桐朋学園大学卒)、安田正昭(ピアニスト:パリ音楽院卒、上野学園講師) アートホール弦楽四重奏団:

ヴァイオリン:印田千裕(東京藝術大学・英国王立音楽院卒、江藤俊哉コンクール第一位)、竹内弦(東京藝術大学卒) ヴィオラ:柘植藍子(東京藝術大学在学)、チェロ:半澤朝彦(英国トリニティ=ギルドホール音楽院リサイタル・ディプロマ)

* 講師・演奏者・曲は都合により変更になることがあります。

■ 申込み方法

出

受 講 料 2,500円(全5回分)/1回のみ受講も可能(各回800円。当日ホールにて受付。残席分のみ) 申込手続(5回一括受講の場合)

- 1) E-mail または往復はがきに、次の事項を明記して総合企画室(地域連携推進担当)までお申し込みください。振込み用紙等を送付します。 ①氏名(フリガナ) ②性別 ③住所(郵便番号) ④電話番号
- 2) 振込み確認後、E-mail または復信はがきにて受講票をお送りします。(受講票は、12月20日発送予定)
- 3) 開講初日に受講票 (E-mail を出力したもの、または復信はがき)を持参し、受付でご提示ください。
- 4) 申込期間: 2013 年 11 月 11 日(月)~ 12 月 13 日(金) 消印有効
- 会 場 戸塚区民文化センター さくらプラザ http://www.totsuka.hall-info.jp/access/

■ 問い合わせ先・申込み先

明治学院大学 総合企画室(地域連携推進担当) 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 E-mail:chiiki@mguad.meijigakuin.ac.jp Tel. 03-5421-5247 Fax. 03-5421-5387 受付時間:平日のみ 9:30~12:00、12:45~16:00

* 個人情報の取り扱いについて

明治学院大学では、受講生の皆様の申込時における個人 情報については、「学校法人明治学院個人情報保護基本 規程」に沿って厳重に管理いたします。これらの個人情 報は、明治学院大学公開講座のご案内用としてのみ利用 いたします。第三者には提供いたしません。



JR戸塚駅、地上3階改札を出て、西口側 (左手側)に進みます。西口駅前デッキに出ます。戸塚区役所への案内表示に従って、 左手の通路を道なりに進むと、戸塚区役所 の入っているビルにさしかかります。 区役所と同じビルの4階がさくらブラザ。